

第三者評価結果

事業所名：荻野すみれ愛児園

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
<コメント> 保育のしおりに保育所の役割（保育所保育指針平成30年施行）を掲載し、保育理念、保育（基本）保育目標が一体的に理解できるように工夫しています。見学時に保護者等に手渡しするパンフレットには写真を活用し、カラーで見やすく作成しています。ホームページを活用することで広く一般にも周知しています。職員に対しても同様に「めざしたい子どもの姿」など採用パンフレットに記載することで入職前から保育のイメージを共有できるように作成しています。 【期待事項】 今後もホームページ内における記載方法の工夫とパンフレット内容の統一を期待します。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に対応している。	第三者評価結果
【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント> 外的な環境については厚木市子ども未来部保育課と連絡を細めにとることで園周辺の入所率や待機児等の情報を入手しています。法人内の環境については月に1度法人本部にて事業経営を取り巻く環境や資金状況を法人内保育園全体で共有しています。その他理事長と情報を共有することで園が置かれている状況を把握しています。年に1度、保護者アンケートを実施し、集計・分析を行い保護者に向けて公表しています。保育の最新情報は厚木市保育会や厚木市民間保育会における研修や会議に参加し最新情報を入手しています。 【期待事項】 今後も現状把握している経営課題に対して具体的にに取り組むことを期待します。	
【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<コメント> 今年度より園長が替わり、園が一つにまとまりつつある段階です。職員は各クラスに必要な数を最低1人以上多く配置しています。幼児トイレの改修により子どものプライバシー確保や安全性の確保ができています。ヒーターを設置したことで冬でも快適に使えるようになりました。課題は少しずつ改善しつつあります。今までの問題点である門扉のセキュリティ、駐車場の混雑問題は今後も引き続き改善に向けに取り組んでいます。今年度は夏の猛暑の為にプールサイドの日よけスペースの確保、厨房の修理など新たな課題も出ています。法人本部と共有することで解決に努めています。 【期待事項】 環境の変化に対する新たな課題も出てきています。優先事項から改善・解決に向けた取組を期待します。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<コメント> 子どもの安全性に配慮した見守りの為にカメラ及びICTの導入、共用部分の絨毯からクッションフロアへの改修工事など中長期的に取り組んでいる様子が伺えます。門扉のセキュリティについても業者との打ち合わせを始め、単年度のセキュリティ事業計画に取り組んでいます。理事長と人員配置も含め話し合いをすることで全体通し細かく配慮しています。 【期待事項】 法人本部とビジョンの共有をしているので明文化することに今後は期待します。	
【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<コメント> 研修計画では2026年度に向けたキャリアアップ研修に対応し、2025年度導入に向け積極的に研修を受講できるよう計画しています。法人として事務所に前年度事業報告書や決算報告書を配置しています。子どもの受け入れ人数等、翌年度に計画を立てる上で必要となる指標がいつでも確認できるように工夫しています。例年行事計画等は2月頃をめどに職員会議等含め、職員の意見を聴きながら主任中心として計画を作成し、園長が確認をしたうえで理事会で決定しています。 【期待事項】 前年度の報告書の一つの指標として中・長期及び単年度計画を具体的に作成することを今後は期待します。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<コメント> 事業計画は、月案の中でICTの活用をし、子どもの成長に寄り添うことが出来るPDCA体制を整えています。毎年施設としての自己評価を行い、園内で保護者がいつでも見ることが出来るようになっていきます。職員1人ひとりも自己評価を行い、職員の意見を取り入れ、評価や見直しを実施しています。 【期待事項】 今後は、職員が事業計画の策定から見直しまでの過程を理解できる仕組みづくりを整えることに期待します。	
【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<コメント> 保護者への周知は手紙とICTの活用したものと2つを利用することで、しっかり伝わるように工夫をしています。ICTの中には「資料室」というページがあり、3月に翌年度の行事配信から、園だより、行事計画、毎月の献立表を含めた大切な手紙や内容が過去にさかのぼって確認できるように工夫しています。必要なのは園内の保護者が出入りする場所に掲示することで、保護者への配慮も工夫しています。園のしおり等に年間行事予定も記載しています。 【期待事項】 園のしおりなどは必要に応じた改訂を行っていますが、更なる工夫を期待します。	

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結果
【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		b
<コメント> 月間指導計画書は月初めの子どもの姿、ねらい、安全と配慮などの項目があり、日々の子どもの様子が次月の計画に反映するように作成しています。全体的な計画、年間指導計画、月案、日案、行事計画、人材育成に必要な内部及び外部の研修計画があります。保育の質の向上に向けてヒヤリハットや事故記録は書面で記録しています。自己評価を通して質の向上に取り組んでいます。2度目の第三者評価受審ということもあり、前回受審より改善しています。 【期待事項】 次回受審に向け保育の質の向上に向けて一層の取組を今後も期待します。		
【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		b
<コメント> 前回の第三者評価受審後に法人全体で話し合いを行い、子どもの人権擁護に関してガイドラインを作成しています。保育目標の項目を「子ども一人一人の人権・人格を尊重するとともに、子どもの健全な身心の成長・発達を促し、最善の利益を考慮した個々に寄り添う適切な保育を行う」を追加し、3つから4つに増やしています。保育のしおりへの明示、職員室に大きく掲示することで職員、保護者に対して周知しています。 【期待事項】 今回の受審を基に本部との連携を密にして一層の改善を今後も期待します。		

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。		b
<コメント> 園長は職員室に組織図、事務分担表、職務分掌を示すことで自らの役割を職員に周知しています。非常時の役割分担は情報・連絡、消火、避難誘導、救出救護、非常持ち出しなど細分化し掲示しています。職員の労務管理や子どもの様子などは、子どもの様子を確認したり、ICTを活用しています。職員の出退勤から休憩・残業の確認を行えるようになっていきます。その他、運営管理、渉外活動に関しては責任者として行うことで園全体の把握を行っています。 【期待事項】 今後は園長が不在の場合など職員がより理解しやすい取組を期待します。		
【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。		b
<コメント> 園長は昨年度防火管理者を取得し、園長研修等を通して保育関係法令等を理解しています。積極的に保育所等のリスクマネジメントについて学んでいます。園の一部が土砂災害警戒区域にかかっていることもあり、緊急時は速やかに避難できるように今年度より上履きを履くことにしています。日々安全安心の保育が継続的に行えるよう、新しく追加した保育目標の周知徹底とマニュアル見直しのためガイドラインも確認するように努める予定です。 【期待事項】 今後は、職員に対して積極的に法令遵守の仕組みづくりをすすめる取組を期待します。		

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

- 【12】Ⅱ-1-(2)-①
保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。

b

<コメント>

園長は例年秋から冬にかけて職員の面談で個別に希望や意見を聞き取っています。今年度から園長が替わったことで、些細なことも聞き逃したくないという気持ちがあります。職員には気になったことや感じたことはいつでも話し合いをする用意があることを伝えていきます。園長は、職員から意見を伝えてくることが増えたように感じています。職員が研修に出る機会を増やすとともに出来るだけ職員の意見や希望を尊重しています。職員が保育をこれまで以上に楽しいと感じることが出来る環境づくりにリーダーシップを発揮しつつあります。

【期待事項】 今後は、保育の質の向上と職員の成長を一体的に進める取組を期待します。

- 【13】Ⅱ-1-(2)-②
経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。

b

<コメント>

園長は、保育業務の効率化を目指し登降園システムや日誌などをデジタル化することでICT導入を行いました。現在は業務の実効性を高める取組を行っています。来年度法人内の園が同じシステムを取り入れる計画があり、法人内での情報交換等を行っています。職員が相互に休憩時間やコミュニケーションを取りやすくするため、職員の数を定員より1名以上は多く配置する工夫をしています。

【期待事項】 ICTを十分に活用することで職員の業務を軽減する取組を期待します。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

第三者評価結果

- 【14】Ⅱ-2-(1)-①
必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。

b

<コメント>

理事長と園長は子どもと職員の負担を軽減したいという考えが一致しています。職員の数はクラス運営で必要となる人数に1名多く配置するようにし、現在は配置が出来ている状態です。職員の採用は法人本部と連絡を取り、行っています。新規卒業生の採用は難しい問題ではありますが、1年目の新しい職員に対しては2年目以上の職員が指導助言に関わることでコミュニケーションがとりやすいようにしています。

【期待事項】 今後は更なる離職防止や職員の定着を促す取組を期待します。

- 【15】Ⅱ-2-(1)-②
総合的な人事管理が行われている。

b

<コメント>

積極的にキャリアアップ研修に参加するようになってきています。法人内の保育施設を参考に来年度は、副主任や専門リーダーを配置する準備を進めています。就業規則や給与規定等の中で、昇進・昇格の具体的な仕組みは未整備の状況です。短期的には職員と面談することで将来の目標等を見通せるようになっていきます。

【期待事項】 今後は法人と総合的な人材確保計画と人事管理に関する取組を期待します。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

- 【16】Ⅱ-2-(2)-①
職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。

b

<コメント>

職員同士が話しやすい環境が出来上がっています。職員は子どもから離れてホッとできるスペースと時間をしっかり確保することで、オンとオフを明確に出来るようにしています。園長は積極的に職員への声かけを増やし、必要に応じて職員と一緒に話が出来るように努めています。シフトは職員の状況を丁寧に聞き取ることで希望に沿えるように努めています。

【期待事項】 ICTの活用などを含めて働きやすい職場づくりのさらなる取組を今後も期待します。

- 【17】Ⅱ-2-(3)-①
職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

b

<コメント>

職員自身の振り返りや自己評価を年3回行っています。保育の年間計画が4期にわかれていたこともあり、振り返りを期ごとに行うようにしています。園長は普段から職員への声かけに努めながら勤務状況もICTを活用して、職員1人ひとりの成長に配慮した育成を行うようにしています。職員の気持ちをしっかりとヒアリングすることで職員が成長できる取組を進めています。

【期待事項】 今後は職員1人ひとりに寄り添った計画目標や達成度合は主任等と共有することを期待します。

【18】Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<コメント> 園内、園外における研修計画が策定され、必要に応じて報告書を職員で共有しています。園内研修には予定時期や担当者を明記することで、実施に関する責任も明確になっています。計画は一部計画と変更になっていますが、しっかりと実施しています。新人職員には施設で取り入れているリトミックについての外部研修を夏に受講してもらい理解を深るようにしています。 【期待事項】今後は策定した教育・研修計画に基づいた研修を適切に実施することで質の向上に繋がることを期待します。	
【19】Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<コメント> 年度途中の研修案内は、その都度職員に情報提供を行い、必要に応じて園長と主任で相談の上、1人ひとりに必要な研修の受講を促しています。年度初めに研修計画を作成します。今年度より、園内研修は造形活動中心に計画を立て廃材を利用した保育を年長児中心に取り入れています。全国的に気になる子どもは増加傾向という情報から外部研修として厚木市療育センター「まめの木」から講師を招き、研修を実施しています。 【期待事項】全体的な研修計画から職員1人ひとりに合わせた育成計画が策定される仕組みづくりを今後は期待します。	
t	
【20】Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<コメント> 令和5年度保育人材の育成・確保の一環として5人の学生に対し、延べ39日の実習を受け入れるとともに16人の看護学生に延べ18日の保育実習を積極的に受け入れています。法人の事業報告書にも詳しく記載があります。実習生受け入れマニュアルが作成しており、各クラスに配布することで職員への周知理解を行っています。実習生には子どもの発達や成長を理解しやすいよう工夫を行っています。 【期待事項】今後は、実習生がより現場が楽しいと思えるようにマニュアルの周知から改訂につながる取組を期待します。	

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
【21】Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<コメント> 保護者アンケートの集計が保護者から見えるように置いてあります。必要に応じて改訂した苦情解決体制に関するマニュアルを整備しています。ポスターも担当者を明記した状態で保護者の出入りする場所に掲示してあります。ホームページに理念、方針、保育目標をはじめ第三者評価の受審結果を公表する体制も整えています。新たにICTを活用した意見等を書き込むシステムを構築しています。	
【22】Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<コメント> 会計事務所の支援は財務から運営まで多岐に渡り行っています。会計事務所は月に1度園を訪問し、資金移動の確認等を行っています。園長は月に一度本部で会計事務所からの報告書を基に話し合いを行います。理事長は最低毎週1回は施設巡回し、法人の風通しの良さに繋がっています。子ども個人で使用する教材費の集金は正確性と作業効率の両立を図るために、一定額以上は銀行振り込みとして保護者をお願いしています。 【期待事項】各園の事務員が交流を増やすことによる事務作業効率化の促進を期待します。	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
【23】Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<コメント> 園庭開放の他に厚木市の市民協働提案事業に選ばれ開設している「Tobioギャラリー」とは、事業所の職員と一緒に七夕の短冊を飾り付けしています。クリスマス、ハロウィン等イベントごとに展示物の作成に参加して地域との交流に取組んでいます。散歩の際には八百屋さんの前を通り、野菜の形や名前に興味を持った子どもたちと店主との会話を多くすることで、食育にもつなげています。近隣の障がい者施設とは多肉植物の観賞を通し子どもと施設の方が植物の会話をしています。 【期待事項】今後は、コロナ禍により途絶えている地域交流の再開に努めることを期待します。	

【24】Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<コメント> 今年度は夏に3日間、大学生の保育ボランティアの受入れをしています。また昨年度ボランティアとして受入れた学生を今年度は実習生として受入れる等、地域の大切な保育園として役割の継続性が見えています。長年の経験から受入れ態勢は整っていますが、ボランティアマニュアル等は未整備の状況です。 【期待事項】ボランティアが実習につながっている事例から、書類を明文化して積極的な体制づくりを期待します。	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
【25】Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<コメント> 厚木市要保護児童対策地域協議会、厚木市児童相談課、厚木市児童発達支援センター「ひよこ園」、療育相談センター「まめの木」等、厚木市未来部を中心にきめ細やかに連絡を取ることで連携しています。2歳児までの小規模保育施設とも連携の幅を拡げています。特に近年、発達に関する不安について、保護者を含め、増加傾向にあります。年に1度、療育相談センター職員を派遣してもらい障害児対応研修を行うことで質の向上に努めています。必要に応じて電話で両者の情報を共有しています。 【期待事項】今後は職員1人ひとりが関係機関との連携を把握できる取組を期待します。	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
【26】Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
<コメント> 園庭開放を月に2回行っています。コロナ禍も落ち着いてきているので今年度は利用者が少しずつ増加しています。地域の子育て家庭に対して絵本やDVDの貸し出しは現在も停止しています。今後は現状に沿った形に変えながら新たな取組を進めていきたいと考えています。園長は前回受審からの懸案事項（気がかり）の一時保育について、ある程度職員の確保がきています。今後は、法人本部と話し合いながら準備を進めたいと考えています。 【期待事項】今後は地域の福祉ニーズ等の把握を積極的にすすめるための取組を期待します。	
【27】Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<コメント> 5歳児は近隣の公民館祭りに参加してお遊戯を披露することで地域との交流を継続していましたが、コロナ禍より参加を中止しています。園長は来年度以降で祭りが開催される場合、こちらから声をかけ、参加したいと考えています。保育を希望する子どもの数は徐々に少なくなり、定員を満たせていません。地域育児センター事業を通じて子育て支援や地域との連携を図るように計画しています。 【期待事項】今後は園長が考えている事業・活動を実現するため計画を立案することに期待します。	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
【28】Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<コメント> 子どもの同士のトラブルが発生すると相手の気持ちを一緒に考えるようにしています。答えを急がせるような促しや誘導尋問になってしまうような声かけはせず、子どもから言葉が出てくるタイミングに合わせて待つことを大切にしています。子どもが本当に言いたいことを代弁するように努めています。保育理念や保育方針にも「子ども一人一人の人権や主体性を尊重し、子どもの最善の利益を守る」とあるように職員一同で実践しています。 【期待事項】保育所内で共通認識を持てるような仕組みづくりを期待します。	
【29】Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	b
<コメント> 保育目標を一つ増やすとともに人権擁護のためのガイドラインを策定し、運用を始めています。全国保育士会の作成した保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリストの活用と併用することで子どものプライバシーの配慮を行っています。ICTを活用することで保護者との連絡は必要に応じて行えるようにしています。園で話すときには場所を変えたり、子どもの前では話さないようにしています。 【期待事項】規程やマニュアルを中心に職員が理解を深める取組を期待します。	

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<コメント> 希望利用者の見学は1日2組限定で主任が対象クラスを重点として園内を一緒に周り、設備や1日の流れを丁寧に説明しています。厚木市保育課窓口で基本情報の記載された「保育のしおり」に園を紹介してもらい配布することで園見学の前に情報を得られるようにしています。入園できるかどうかという質問も多いので、厚木市による調整が必要なことを伝えるように努めています。園見学の際に渡すパンフレットはカラー印刷しており、写真も取入れることで園での生活がわかりやすいように作られています。 【期待事項】今後も利用希望者への積極的な情報提供を期待します。	
【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<コメント> 入園時に保護者からの同意を得て「特定教育・保育提供開始の同意書」に署名捺印を頂いています。入園前に説明会を行い、重要事項やしおりに基に園生活で大切にしている理念、保育目標、必要な物品、費用の説明を行ったうえで申込みを決定できるようにしています。年度途中の行事の変更やお知らせはICTを活用し、保護者に配信するとともに必要に応じて書面で配布したり、口頭で伝えるようにしています。 【期待事項】今後も保育の開始・変更にあたり保護者等への積極的な説明を期待します。	
【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<コメント> 園のしおりには「転園・卒園後の相談窓口について」という項目を明記しています。保護者が抱く転園時の不安感を和らげるように努めています。保育所の変更時の引継ぎ文書は未整備ですが、必要に応じて口頭で説明しています。小学校への進学時に必要となる保育所児童要録と同様に他の保育園、協力医療機関、行政等への個人情報開示については同意書に記載があります。保育所等の変更にあたり継続性に配慮した仕組み、体制が整っています。 【期待事項】保育所の変更時引継ぎ文書等を検討し、保護者に対して一層の配慮を期待します。	
(3) 利用者満足の上昇に努めている。	
【33】 Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<コメント> 例年保護者アンケートが行われ、保護者へのフィードバックを行なっています。職員とも会議で情報を共有することで毎年の満足度向上につながる取組となっています。以前配布していた園だより等はICTでの配信に変更したことで、手紙を紛失した、見ないという保護者にも対応がとれる体制になっています。定期的な個人面談や、希望があれば随時面談も行っています。大きな行事等の担当職員も園内の掲示で保護者に周知しています。 【期待事項】利用者満足の上昇にむけ更なる積極的取組を期待します。	
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
【34】 Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
【判断した理由・特記事項等】 苦情解決マニュアルを整備しています。保育のしおりには、苦情解決の担当者、責任者、第三者委員を記載し、保護者にも明示しています。仕組みをわかりやすく説明した、「かながわ福祉サービス運営適正化委員会」作成のポスターも保護者の目につきやすいところに掲示しています。ICTの導入により保護者は依然と比べ意見や相談も簡単にできるようになっています。また園長は保護者からの意見を少しでも多く頂きたいと考えています。設置場所が決まっていますが、意見箱の設置を検討しています。 【期待事項】苦情解決の仕組みは確立しています。更に機能する取組を期待します。	
【35】 Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<コメント> 保護者はICTの活用により、園に直接意見や相談しやすくなっています。送迎時は駐車場の混雑により、保護者とのコミュニケーションが取りにくい現状です。保護者面談、ポスターの掲示、申し出により個別の相談時間を設けるなどきめ細やかな環境を整備しています。ホームページにもフォームを用意してあり意見や要望を入力できる体制を整えています。 【期待事項】ICTだけでなく園内においても保護者からの意見をより一層汲み取る取組を今後も期待します。	

【36】 Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
---	---

<コメント>

日々の保育に関する相談は担任が受け、担任から主任や園長と共有し保護者が安心できるよう一緒に答えを導き出すように努めています。保護者からの相談や意見は内容によって職員に速やかに周知し、対応するようにしています。必要に応じて厚木市とも共有することもあります。保護者アンケートに対しては集計した後に職員と共有し、次年度の運営に活かしています。

【期待事項】駐車場の利用等、保護者から意見が出ているので必要に応じて本部を含めた迅速な対応を期待します。

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

【37】 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
---	---

<コメント>

園長・主任中心とした事故防止委員会を設置しています。重大事故につながる可能性が高いと判断したヒヤリハットや事故に対しては速やかに会議を開催し職員との共有や対応策を検討します。年に1度は必ず事故防止委員会を開催することでヒヤリハット等も再度、共有しています。例年は9月に行っていますが、今年度は業務の関係から12月に行う予定となっています。事故対応マニュアルや危機管理マニュアルを整備しています。

【期待事項】事故防止委員会等の組織を活用することで更なる取組に期待します。

【38】 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
--	---

<コメント>

感染症が発生した場合は速やかに全保護者に周知できるよう、ICTと掲示による周知を行っています。感染症対応マニュアルを整備しています。子どもたちが安心して過ごす環境を整える為、園内の清掃、玩具の消毒を徹底しています。玄関にもアルコールや体温計を設置しています。トイレでの手洗後は使い捨てのペーパータオルを使用し、感染源が拡がらないように努めています。職員の意識を向上する一助として掃除担当者と担当場所を保護者から見える位置に掲示しています。

【期待事項】今後もマニュアルの改定や体制づくり等、更なる取組を期待します。

【39】 Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
--	---

<コメント>

毎月避難訓練と消火訓練を実施し、記録簿も整備しています。土砂災害警戒区域に園がある為、土砂災害に関する訓練、保護者による引取り訓練、通報訓練を実施しています。保育のしおりに「災害ダイヤル」について明記しています。災害に対するマニュアルを整備し、マニュアルに基づいた訓練に努めています。非常食は事務員を中心に定期的に賞味期限を確認し、必要に応じて発注を行っています。全職員が非常食の保管場所を把握しています。

【期待事項】今後、非常食の内容や期限の共有等、更なる安全確保の取組を期待します。

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b

<コメント>

保育についての標準的な実施方法としては保育所保育指針（平成30年施行）と保育のしおりに明示するとともに指針に沿った全体的な計画からデイリープログラムまで文書化しています。全職員は計画やプログラムに基づいて丁寧な保育に努めています。保育内容は毎年、職員が話し合いを行ったうえで見直し、毎月の子どもの様子に合わせて次月の計画を修正してから実施しています。ICT化に伴い園長や主任はパソコン上で必要な時に確認を行い、職員と共有しながら助言を行うようにしています。

【期待事項】今後は、ICT化に伴う活用方法の標準化を期待します。

【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
---	---

<コメント>

標準的な実施方法についての主な見直しは次年度計画を見直す時期に、子どもたちの姿等を反映しながら同時期に行います。0歳児から2歳児までは個別指導計画を作成しています。指導計画は月初めの子どもの姿を見つめながら子どもの成長に合わせた柔軟な修正をしています。

【期待事項】今後は、中・長期的な視点を大切にしながら標準的な実施方法を検討する取組を期待します。

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

【42】 Ⅲ-2-(2)-①
アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。

b

<コメント>

入園時や進級時に生活状況記録を保護者が提出しています。記録は子どもの生活に大切な食事、排泄、睡眠、好きな遊び、既往症、アレルギー症などの細かい項目を記載できるようにしています。職員は、この記録と子どもの様子をみながら指導計画を作成し、園長主任が最終的な確認をします。クラス内では書面等から一人ひとりが興味を持つことが出来るような対応を心がけています。支援の必要な子どもには個別対応を行っています。保護者からのニーズはアンケート以外に職員が保護者との会話の中で汲み取るようにしています。

【期待事項】 今後は、支援の必要な子どもの指導計画や記録が職員間で更に共有できる取組を期待します。

【43】 Ⅲ-2-(2)-②
定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。

b

<コメント>

定期的な指導計画の評価・見直しは期ごと、月ごとに実施しています。振り返りは担任間で子どもの現在の姿を中心に行ない、お互い異なる視点で評価検討し、すり合わせを行っています。園長は現在でも定期的指導計画の評価・見直しを行っていると考えていますが、更なる取組を行いたいと考えています。

【期待事項】 指導計画の評価・見直しの仕組みや手順が園全体で共有できる仕組みづくりを期待します。

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

【44】 Ⅲ-2-(3)-①
子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

b

<コメント>

子ども一人ひとりの保育の実施状況や発達記録をICTの活用により書式は統一化しています。記録した情報は職員間で適切に共有化しています。必要に応じて関係機関と共有しています。子どもの様子は記録から日々の保育が計画に基づいて行われていることが伺えます。個別的配慮を必要とする子どもの記録は様子によって週ごと又は毎日記入するなど細かく記入しています。児童票には毎年度末に次年度に引き継げるような記入をすることで、入園から卒園までの発達状況を記録しています。

【期待事項】 保育の実施状況の共有化を高めるように今後は、期待します。

【45】 Ⅲ-2-(3)-②
子どもに関する記録の管理体制が確立している。

b

<コメント>

子どもに関する記録の管理、取扱いの最終責任者は園長としています。個人情報の記入がある書類を破棄する際は必ずシュレッダーを使用するようにしています。事務所の個人情報に関する書類は事務所で鍵のかかる場所に保管しています。ICT化に伴いパソコン上の管理にも注意を払っています。職員が書類等を確認したい場合は園長、主任、事務員の3人に声をかけてから取り出すことを徹底しています。保育のしおりに個人情報の取り扱いを記載し、保護者に伝えています。

【期待事項】 今後は、ICT化に伴う個人記録の管理体制と標準化を期待します。